

令和 5 年 6 月 1 日現在

機関番号：15401

研究種目：若手研究

研究期間：2019～2022

課題番号：19K13739

研究課題名（和文）金融リテラシーが人々の老後の不安に与える影響のメカニズムに関する研究

研究課題名（英文）Financial literacy and anxiety about life in old age

研究代表者

角谷 快彦（Yoshihiko, Kadoya）

広島大学・人間社会科学研究科（社）・教授

研究者番号：20619176

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,000,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は全体を通じて極めて順調に推移し、結果として当初の計画以上の成果を残すことができた。具体的には、令和元年度は、査読付き国際学術誌に4本の論文採択、分担執筆書籍1冊、国際ワークショップの招待討論1件、国内ワークショップでの発表1件、そして国際シンポジウムにおける発表1件であった。令和2年度は、査読付き国際学術誌に6本の論文採択があった。令和3年度は、インパクトファクター付きの国際学術誌に採択された12本を含む13本の論文掲載があった。令和4年度は、インパクトファクター付きの国際学術誌に採択された9本の論文と共著書籍1冊である。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、急速な少子高齢化の進展と社会保障費の増大が喫緊の社会的課題となっていた我が国において、これまでほとんど研究が行われていなかった、個人の金融リテラシーと老後の不安の関係に関する研究の不在を埋めた。さらに、研究の途中で、金融リテラシーが老後の不安のみならず、老後不安の要因となる他の要因にも関連していることに気づき、それらの領域を深掘りした。具体的には、家計リスク（例：特殊被害脆弱性）、健康リスク行動（喫煙・ギャンブル依存、飲酒・運動習慣）、そしてコロナ禍での孤独リスクやワクチン回避行動等である。本研究は、金融リテラシーがこれらの点でも人々のリスク軽減に寄与している可能性を提示した。

研究成果の概要（英文）：This project went very well in general. The research outputs include 31 academic papers and 2 coauthored books: 4 papers and 1 book for FY2019; 6 papers for FY2020; 12 papers for FY2021; and 9 papers and 1 book for FY2022. The journals that appeared include Frontiers in Public Health: Health Economics, Journal of Gambling Studies, International Journal of Environmental Research and Public Health: Health Economics, and Journal of Consumer Affairs. The research contributions are not just to the field of financial literacy-anxiety but the relationship between financial literacy and risk-averse behaviors in terms of household finance and health-related behaviors.

研究分野：行動ファイナンス、医療経済学

キーワード：金融リテラシー 不安 メンタルヘルス

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

急速な少子高齢化の進展と社会保障費の増大が喫緊の社会的課題となっていた我が国において、人々の老後の生活不安の軽減は極めて重要なテーマであった。先行研究では、人々の老後に対する不安の大きさが、現役世代の過剰な予備的貯蓄行動に起因する実態経済への悪影響に加え、人々の手厚い社会保障の求めにつながり政府による社会保障費がますます増大することが指摘されていた（例えば Dardanoi, 1991; Kazarosian, 1997; Menegatti, 2007）。日本の人口動態は今後数十年に渡り、人口に占める高齢者の割合が増え続けることが予測されており、それに伴って増え続ける社会保障費の効率化につながる人々の老後不安の軽減が一層の注目を集めることは明白であった。

一方、金融研究の分野では、個人の金融リテラシーの高さが、資産蓄積や老後の生活設計に有利に働くことは別途先行研究(例えば Alessie et al, 2011)により当時から知られており、金融教育の普及による個人の金融リテラシーの向上が、人々の老後不安の軽減につながる可能性は十分にありと考えられた。

しかし、個人の金融リテラシーと老後の不安の関係については当時はほとんど研究が行われていなかった。これには2つの理由が考えられた。ひとつは、人口の少子高齢化が先進国やその他の東アジア諸国を中心とした世界的現象である一方で、その進展速度は日本が突出しており、日本以外の国では人々の老後の不安に対する関心が相対的に高くなかったこと。もうひとつは、老後の不安に対する関心が高い日本において、金融リテラシーに関する研究は、特に先行する欧米諸国と比べて極めて新しく、研究の蓄積が限られていたことである。

2. 研究の目的

本研究の目的は、金融リテラシーが老後の不安に与える影響のメカニズムを解き明かすことである。

3. 研究の方法

本研究の方法は、3つの段階を踏んだ。個人の金融リテラシー測定指標（簡易版）と老後の不安の度合い指標を含む全国家計パネル調査である、大阪大学「くらしの好みと満足度に関するアンケート調査」を用いて金融リテラシーが老後の不安にどのような影響を与えるかを概観した。なお、同調査は日本のみならず、米国のデータも同様の分析に使えることから、分析の一部に米国との比較の視座を加えた研究を行った。

次に、全国家計調査である広島大学「日本の高齢者の経済活動と認知症対策に関する意識調査」を用いて金融リテラシーが老後の不安に作用するメカニズムを深掘りした。同調査はもともと高齢者の自律的な経済活動を支援する目的で行ったものだが、研究代表者は調査当時から、将来的に金融リテラシーの向上が同目的に間接的に影響する可能性について考えており、金融リテラシー測定指標に加え、Tennyson (2011) 提唱の保険リテラシー測定指標を、従来の老後の生活不安指標とともに調査票に入れ込んでおいた。本研究ではこれらの情報を活用し、高齢者の保険リテラシーや特殊詐欺被害可能性についても深掘りした分析を行った。

最後に、本研究は金融中央広報委員会から提供された「金融リテラシー調査」を用いてこれまでの調査結果の確認と政策インプリケーションの導出、そして今後の研究の国際展開に対する展望を模索した。金融中央広報委員会の調査はほぼ金融リテラシーのみに特化しているため設問数こそ少ないが標本数に強みがある。同調査の標本数は約 25,000 と他の全国規模の家計調査と比較しても豊富で、例えば都道府県別の金融リテラシーの特徴についての分析も可能になっている。本研究ではこの時点で既に明らかになった金融リテラシーが老後の不安に与える影響のメカニズムを下敷きに、標本数の豊富な金融中央広報委員会のデータを用いて具体的にどのように個人の金融リテラシーを高めていったらよいか焦点をあてた政策インプリケーションの導出を試みた。

さらに、研究の途中で、金融リテラシーが老後の不安のみならず、老後不安の要因となる他の要因にも関連していることに気づき、それらの領域を深掘りした。具体的には、家計リスク(例: 特殊被害脆弱性)、健康リスク行動(喫煙・ギャンブル依存、飲酒・運動習慣)、そして期せずして生じたコロナ禍での孤独リスクやワクチン接種行動等である。

4. 研究成果

本研究は全体を通じて極めて順調に推移し、結果として当初の計画以上の成果を残すことができた。令和元年度は、査読付き国際学術誌に4本の論文採択、分担執筆書籍1冊、国際ワークショップの招待討論1件、国内ワークショップでの発表1件、そして国際シンポジウムにおける発表1件であった。論文が採択された雑誌は Journal of Financial Crime、Journal of Women

& Aging、Sustainability、そして Journal of Gambling Studies である。分担執筆書籍は藤田卓仙・小賀野 晶一・ 成本 迅編著「認知症と情報」である。国際ワークショップはアジア開発銀行年次総会、国内ワークショップは生命保険文化センター「人生100年時代におけるライフマネジメント」研究会、国際シンポジウムは The 11th INDAS-South Asia International Conference, “Life and Death in Contemporary South Asia”であった。

令和2年度は、査読付き国際学術誌に6本の論文採択があった。論文が採択された雑誌は International Journal of Environmental Research and Public Health(2本)、Sustainability(3本)、Frontiers in Public Health: Health Economics(1本)である。その他、2020年日本経済学会秋季大会の指定討論者、第15回医療経済学会全国大会の実行委員(セッション座長)、2020年度家計経済学・ハウスホールドファイナンスコンファレンスの指定討論者、生命保険文化センター「人生100年時代におけるライフマネジメント」研究会メンバー等を務め、研究の意見交換に役立てた。

令和3年度は、インパクトファクター付きの国際学術誌に採択された12本を含む13本の論文掲載があった。論文が採択された雑誌は International Journal of Environmental Research and Public Health(IF=3.390, 3本)、Sustainability(IF=3.251, 5本)、Journal of Gambling Studies (IF=3.655, 1本)、Frontiers in Psychology (IF=2.990, 1本)、Journal of Consumer Affairs (IF=2.131, 1本)、Transportation Research (F): Traffic Psychology and Behaviour (IF=3.261, 1本)、Gerontologie et societe; (IFなし, 1本)である。その他、2021年日本経済学会秋季大会の指定討論者、日本公共政策学会研究大会企画委員、生命保険文化センター「人生100年時代におけるライフマネジメント」研究会メンバー等を務め、研究の意見交換に役立てた。

令和4年度は、インパクトファクター付きの国際学術誌に採択された9本の論文と共著書籍1冊である。掲載された雑誌は International Journal of Environmental Research of Public Health: Health Economics (IF=4.614, 5本)、IEEE Access (IF=3.467, 1本)、BMC Public Health (IF=4.135, 1本)、Behavioral Science (IF=2.286, 1本)、Sustainability (IF=3.889, 本)である。また、共著書籍は Mahajlo Jakoljevic and Seiritsu Ogura (eds)「Insights in Health Economics: 2021」(frontiers media)で、論文「Financial Literacy, Financial Education, and Smoking Behavior: Evidence from Japan」が1本収録された。

令和4年度は研究成果のメディア掲載も多かった。具体的には、日本経済新聞、朝日新聞、毎日新聞、中国新聞の各紙で成果が写真つきで大きく掲載された。

また、FNNプライムオンライン等のネットメディアでも研究が複数回特集された。

その他、令和4年度の成果は、2022年日本経済学会春季大会の指定討論者、日本学術会議「ワークライフバランス分科会」での研究報告、JILPT・日本学術会議・労働政策フォーラム「ワークライフバランス研究の新局面」での指定討論者等にも役立てた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計23件（うち査読付論文 23件／うち国際共著 2件／うちオープンアクセス 21件）

1. 著者名 Yuktadatta Pattaphol, Ono Shunsuke, Khan Mostafa Saidur Rahim, Kadoya Yoshihiko	4. 巻 14
2. 論文標題 Satisfaction with the COVID-19 Economic Stimulus Policy: A Study of the Special Cash Payment Policy for Residents of Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 3401～3401
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3390/su14063401	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Kadoya Yoshihiko, Rabbani Naheed, Khan Mostafa Saidur Rahim	4. 巻 56
2. 論文標題 Insurance literacy among older people in Japan: The role of socio economic status	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Consumer Affairs	6. 最初と最後の頁 788～805
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1111/joca.12448	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する
1. 著者名 Khan Mostafa Saidur Rahim, Rabbani Naheed, Kadoya Yoshihiko	4. 巻 13
2. 論文標題 Can Financial Literacy Explain Lack of Investment in Risky Assets in Japan?	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 12616～12616
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3390/su132212616	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Khan Mostafa Saidur Rahim, Watanapongvanich Sontip, Kadoya Yoshihiko	4. 巻 18
2. 論文標題 COVID-19 Vaccine Hesitancy among the Younger Generation in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 11702～11702
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3390/ijerph182111702	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Yuktadatta Pattapoh, Khan Mostafa Saidur Rahim, Kadoya Yoshihiko	4. 巻 13
2. 論文標題 Financial Literacy and Exercise Behavior in the United States	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 9452 ~ 9452
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su13169452	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Putthinun Pongpat, Watanapongvanich Somtip, Khan Mostafa Saidur Rahim, Kadoya Yoshihiko	4. 巻 13
2. 論文標題 Financial Literacy and Alcohol Drinking Behavior: Evidence from Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 8858 ~ 8858
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su13168858	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Khan Mostafa Saidur Rahim, Kadoya Yoshihiko	4. 巻 18
2. 論文標題 Loneliness during the COVID-19 Pandemic: A Comparison between Older and Younger People	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 7871 ~ 7871
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph18157871	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kadoya Yoshihiko, Khan Mostafa Saidur Rahim, Narumoto Jin, Watanabe Satoshi	4. 巻 12
2. 論文標題 Who Is Next? A Study on Victims of Financial Fraud in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2021.649565	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Khan Mostafa Saidur Rahim, Watanapongvanich Sontip, Kadoya Yoshihiko	4. 巻 vol. 43 / n° 165
2. 論文標題 Family caregiving attitudes: Implications for post-pandemic eldercare in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Gerontologie et societe	6. 最初と最後の頁 1a ~ XVIIIa
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3917/gsl.165.0204	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kadoya Yoshihiko, Watanapongvanich Sontip, Khan Mostafa Saidur Rahim	4. 巻 79
2. 論文標題 How is emotion associated with driving speed? A study on taxi drivers in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Transportation Research Part F: Traffic Psychology and Behaviour	6. 最初と最後の頁 205 ~ 216
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.trf.2021.04.020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kadoya Yoshihiko, Watanapongvanich Sontip, Yuktadatta Pattaphol, Putthinun Pongpat, Lartey Stella T., Khan Mostafa Saidur Rahim	4. 巻 18
2. 論文標題 Willing or Hesitant? A Socioeconomic Study on the Potential Acceptance of COVID-19 Vaccine in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 4864 ~ 4864
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph18094864	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Watanapongvanich Sontip, Khan Mostafa Saidur Rahim, Putthinun Pongpat, Ono Shunsuke, Kadoya Yoshihiko	4. 巻 38
2. 論文標題 Financial Literacy and Gambling Behavior in the United States	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Gambling Studies	6. 最初と最後の頁 445 ~ 463
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10899-021-10030-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ono Shunsuke, Yuktadatta Pattaphol, Taniguchi Takafumi, Iitsuka Tomoe, Noguchi Masafumi, Tanaka Sawa, Ito Haruka, Nakamura Kousei, Yasuhara Nanako, Miyawaki Chihiro, Mikura Katsumi, Khan Mostafa Saidur Rahim, Kadoya Yoshihiko	4. 巻 13
2. 論文標題 Financial Literacy and Exercise Behavior: Evidence from Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 4189 ~ 4189
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su13084189	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Oba Hikaru, Kadoya Yoshihiko, Okamoto Haruka, Matsuoka Teruyuki, Abe Yoshinari, Shibata Keisuke, Narumoto Jin	4. 巻 18
2. 論文標題 The Economic Burden of Dementia: Evidence from a Survey of Households of People with Dementia and Their Caregivers	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 2717 ~ 2717
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph18052717	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Khan Mostafa Saidur Rahim, Putthinun Pongpat, Watanapongvanich Sontip, Yuktadatta Pattaphol, Uddin Md. Azad, Kadoya Yoshihiko	4. 巻 18
2. 論文標題 Do Financial Literacy and Financial Education Influence Smoking Behavior in the United States?	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph18052579	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Watanapongvanich Sontip, Khan Mostafa Saidur Rahim, Putthinun Pongpat, Ono Shunsuke, Kadoya Yoshihiko	4. 巻 8
2. 論文標題 Financial Literacy, Financial Education, and Smoking Behavior: Evidence From Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Public Health	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpubh.2020.612976	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Khan Mostafa Saidur Rahim, Rabbani Naheed, Kadoya Yoshihiko	4. 巻 12
2. 論文標題 Is Financial Literacy Associated with Investment in Financial Markets in the United States?	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su12187370	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kadoya Yoshihiko, Khan Mostafa Saidur Rahim, Yamane Tomomi	4. 巻 12
2. 論文標題 Government's Stimulus Program to Boost Consumer Spending: A Case of Discount Shopping Coupon Scheme in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su12093906	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kadoya Yoshihiko, Khan Mostafa Saidur Rahim	4. 巻 12
2. 論文標題 Financial Literacy in Japan: New Evidence Using Financial Knowledge, Behavior, and Attitude	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su12093683	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kadoya Yoshihiko, Khan Mostafa Saidur Rahim, Yamane Tomomi	4. 巻 27
2. 論文標題 The rising phenomenon of financial scams: evidence from Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Financial Crime	6. 最初と最後の頁 387 ~ 396
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1108/JFC-05-2019-0057	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kadoya Yoshihiko, Khan Mostafa Saidur Rahim, Watanapongvanich Somtip, Binnagan Punjapol	4. 巻 12
2. 論文標題 Emotional Status and Productivity: Evidence from the Special Economic Zone in Laos	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 1544 ~ 1544
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su12041544	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Watanapongvanich Somtip, Binnagan Punjapol, Putthinin Pongpat, Khan Mostafa Saidur Rahim, Kadoya Yoshihiko	4. 巻 37
2. 論文標題 Financial Literacy and Gambling Behavior: Evidence from Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Gambling Studies	6. 最初と最後の頁 445 ~ 465
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10899-020-09936-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kadoya Yoshihiko, Khan Mostafa Saidur Rahim, Oba Hikaru, Narumoto Jin	4. 巻 33
2. 論文標題 Factors affecting knowledge about the adult guardianship and civil trust systems: evidence from Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Women & Aging	6. 最初と最後の頁 541 ~ 555
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/08952841.2020.1727711	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計1件 (うち招待講演 1件 / うち国際学会 1件)

1. 発表者名 Yoshihiko Kadoyas
2. 発表標題 Can Concern for the Long-Term Care of Older Parents Explain Son Preference at Birth in India?
3. 学会等名 The 11th INDAS-South Asia International Conference, "Life and Death in Contemporary South Asia" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 藤田 卓仙、小賀野 晶一、成木 迅	4. 発行年 2019年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 240
3. 書名 認知症と情報	

〔産業財産権〕

〔その他〕

角谷快彦 https://home.hiroshima-u.ac.jp/~ykadoya/ja/ 広島大学医療経済研究拠点 http://hiher.hiroshima-u.ac.jp/ 角谷快彦 https://home.hiroshima-u.ac.jp/~ykadoya/ja/ 広島大学医療経済研究拠点 http://hiher.hiroshima-u.ac.jp/ 角谷快彦 https://home.hiroshima-u.ac.jp/~ykadoya/ja/

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------